

## 3-2 日本森林学会誌執筆要領

1. 原稿の形式は次のとおりとする。

**論文、総説、短報**は、(1)表紙として、原稿種別、表題、簡略表題(ランニングタイトル、25字以内)、著者名(姓名略さず)、所属、所在地(著者が複数の場合、共著者全員の所属と所在地を明記)、いずれも和英併記(ただし、簡略表題は和文のみ)、および連絡先著者の電子メールアドレス、(2)要旨および5語以内のキーワード、いずれも和文と英文で記載、(3)本文、(4)引用文献、(5)図の題と説明、(6)図、(7)表、(8)電子付録(付図・付表など)をそれぞれ別紙に記載する。謝辞がある場合は本文の最後に記述する。

**その他**は特に形式を定めない。ただし、表題の前に巻頭言などの種類を記載すること。

2. **表題**は「……に関する研究」や「……について」などの表現は避ける。

3. **和文要旨**は、論文と総説については500字以内、短報については400字以内とする。

**英文要旨**は、論文と総説については250単語以内、短報については200単語以内とする。要旨中では図・表・電子付録・文献・数式などの引用は避け、改行しない。

4. **原稿**はA4判の白紙に横書きで、1枚につき上下左右それぞれ3cm程度の余白をとり、横40字×縦25行に整えたものとする。図・表と電子付録以外の原稿にはページをふり、左余白には行番号を付記する(手書きの場合は5行おきでもよい)。本誌1ページあたり、文字のみで2,700字程度入る。

5. 仮名遣いは現代仮名遣いとし、学術用語以外は常用漢字を用いる。原稿中に欧語を用いるのは、その必要がある場合に限る。動物・植物の和名は片仮名書きとし、学名はイタリックとする。単位はSI単位とする。ウェブ投稿の場合は、外字や機種依存文字、ならびに入手困難なフォントは用いない。

6. **図・表**の題にはそれぞれ通し番号(図-1、表-1など)をつける。英文の図・表の場合は、和文の題に英文を併記し、それ以外の部分はすべて英文とする。

**図**:印刷したときの品質が鮮明なものとする。図に使用した記号やグラフの網掛けの凡例は図中に入れる。用紙の右上に図の通し番号(図-1など)を記載する。図の修正、書き直し、文字の貼り直しは著者の実費負担とする。カラー印刷希望の場合は、その製版印刷の全額を著者負担とする。

**表**:大きさは原則として、1ページに印刷できる限度以内とする。表の縦けいは省き、横けいもできる限り省略する。図化できる表は、図にすることが望ましい。題は表の上に、脚注は表の下に記載する。

7. **電子付録(付図・付表など)**は、必要のある場合、電子的補助資料としてつけることができる(冊子体には掲載されない)。付図・付表の記載方法は上記の図・表に従う。ただし、付図には題と説明を図の下に記載する。

8. **引用文献**は著者名のアルファベット順に記載し、同一著者の文献が複数ある場合には発行年順とする。本文中での引用は、引用文献に付した通し番号で(1)、(2)、(3)のように引用するか、または、該当人名に(年)あるいは事項に(人名 年)をつけて引用する。混用はしないこと。後者の方法で著者が2名の場合は(人名・人名 年)、(name and name 年)のように引用する。また後者の方法で著者(ただし、著者が3名以上の文献は筆頭著者

のみ)と発行年が同一のものは、年の後にa, bなどをつけて区別する。誌名の略記法は慣例にならう。巻通しページがある場合は巻のみとし、ない場合は巻(号)を併記する。記載方法は下記の例に従う。

### 例

#### a. 雑誌の場合

笠井美青・丸谷知己(1994)山地河川における立木群による土砂の滞留機構. 日林誌 76: 560-568

Ochiai Y, Okuda S, Sato A (1994) The influence of canopy gap size in soil water conditions in a deciduous broad-leaved secondary forest in Japan. J Jpn For Soc 76: 308-314

#### b. 書籍の場合

Levitt J (1972) Responses of plant to environmental stresses. Academic Press

渡邊定元(1994)樹木社会学. 東大出版会

#### c. 書籍中の場合

小林繁男(1993)熱帯土壌の瘦悪化. (熱帯林土壌. 真下育久編, 勝美堂). 280-333

Wells JF, Lund HG (1991) Integrating timber information in the USDA Forest Service. In Proceedings of the Symposium on Integrated Forest Management Information Systems. Minowa M, Tsuyuki S (eds) Japan Society of Forest Planning Press, 102-111

9. 本文中で用いた注は引用文献の前に番号をつけてまとめる。

(2011年5月28日改定)

(2017年4月18日改定)

(2018年4月24日改定)

(2019年4月23日改定)